

# まちかどネットワーク！



## 同級生が奏でるアンサンブル

### MAUハンドベルリンガーズ

度だけで終わるのはもったいない、  
もう少し演奏を続けてみよう」と  
いうことになり、それから20年以上  
続けています」と話します。

市内在住の同級生である日本舞踊  
家の公演「午の会」で初舞台。その  
ときに「MAUハンドベルリンガ  
ーズ」というグループ名が名付けられ  
ました。「MAU」は、メンバーが  
全員午年生まれということからロー  
マ字の「うま」を逆さまにしたもの  
で、大空へ「舞う」の意味合いも込  
められているそうです。

### ハンドベルの魅力

MAUハンドベルリンガーズが  
使うイングリッシュハンドベルは、一つ  
一つの音が合わさって演奏が成り立ちま  
す。このグループは大小全部で5オク  
ターブ61個のベルを所有、最大で4キロ  
グラムもあるベルを10人で手分けしなが  
ら演奏しています。1人10個以上のベル  
を担当することも。

メンバーの八木  
久さんに話を伺  
うと、「自主練習  
で、1人で演奏す  
ると、何の曲を奏  
でているか分か  
りません。チーム  
で、1人で演奏す  
ると、何の曲を奏  
でているか分か  
りません。チーム  
で



▲一人で複数のベルを操る

たときにメロディーが完成し、聴いたこ  
とがある曲になります。メンバーと心が  
通じ合い、一つの曲になったときに喜び  
や楽しさを感じます。曲ができていく過  
程が面白いですね」とハンドベルの魅力  
について話します。

### 今後も仲間とともに

メンバーの皆さん  
に今後の目標につ  
いて伺うと、「来年はグ  
ループ結成25年とな  
る節目の年です。メ  
ンバーも高齢になっ  
てきているので、認  
知症予防も兼ねて、  
チームワークをモッ  
トに、息の長い演奏活動を続けていき  
たいです。目指すは50周年ですね」と冗  
談を交えて教えてくれました。



▲昨年の定期演奏会の様子

すてきな演奏を聴ける次の機会は、6  
月2日(日)の第56回富士市総合文化祭。  
グループの演奏テーマは、「運動会」。皆  
さんが聴き覚えのある運動会の曲も聴く  
ことができるかもしれません。市内で活  
動している5つの団体とも共演しますの  
で、会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。  
か。



総祭  
文化  
つら  
富合  
には

### 始まりは突然に

MAUハンドベルリンガーズは、吉原  
第一中学校を卒業した同級生10人で活動  
しています。毎年12月に開催している定  
期演奏会をはじめ、富士市総合文化祭や  
広見公園内にある旧稲垣家住宅での「か  
やぶき農家の癒やしのおんがく会」など  
様々なところで演奏をしています。令和  
4年には、富士市教育文化スポーツ奨励  
賞を受賞しました。

始まりは平成12年、中学校の学年同窓  
会で、幹事を任されたメンバーで行った  
余興でした。代表の土屋厚子さんは「ハ  
ンドベルを持っているから挑戦してみよ  
う」という提案から始まりました。一